

令和5年11月15日

訓練科・訓練コースにおける短期コースの新設について

当センターでは、訓練科・訓練コースの訓練期間を1年間としてきたところですが、令和6年度より、これに加え、下記のとおり各訓練科・訓練コースに係る一定の技能・知識を身に付けている方を対象とした6カ月間の短期コースを新たに設定し、応募される方の状況やニーズ等に応じて訓練期間を選択できるようにすることとしました。

そのため、令和5年度第10回応募回(入所日 令和6年4月17日(水))から、短期コースの応募も受け付けることとします(ハローワークへの申請書提出締切日 令和6年1月18日(木))。

記

1 令和6年4月以降の訓練系・訓練科・訓練コースの設定 (別紙のとおり)

(1) 短期コースの新設

職域開発系を除く訓練系・訓練科・訓練コースに、訓練期間6カ月間の「短期コース」を新設します。これに伴い、従前の1年間の訓練は、「標準コース」と称することとします。

各訓練科・訓練コースの定員は、「標準コース」と「短期コース」を合わせた数となります。なお、上記以外は、令和5年度と同様です。

(2) 訓練期間

① 標準コース

1年間

② 短期コース

6カ月間

(3) 対象者

① 標準コース

実務経験の有無にかかわらず、専門的な技能や知識の習得を希望している方

② 短期コース

実務経験がある等により、応募する訓練科・訓練コースに係る一定の技能や知識を身に付けており、早期の就職を希望している方

(4) 短期コースの応募受け付け

令和5年度第10回応募回(入所日 令和6年4月17日(水))から開始します。

同応募回のハローワークへの申請書提出締切日は、令和6年1月18日(木)です。

これ以降については、令和6年度の募集要項に掲載します。

2 令和5年度第10回応募回における短期コースの応募方法

入所申請書(共通様式¹-1)の「希望する訓練科」の欄に、希望の訓練科・訓練コース名に加えて、「短期コース」と明記して下さい。

「短期コース」の記載がない場合は、標準コース応募者として受け付けます。

3 留意事項等

- ・ 入所後は「標準コース」「短期コース」の選択を変更できません。
- ・ 短期コース応募者の「実務経験」や「一定の技能や知識」は、入所申請書の内容で確認し、入所選考(職業評価)において、必要に応じて標準コースへの変更を相談する場合があります。
- ・ 短期コースの訓練生については、既に身に付けている技能や知識を踏まえ、所属訓練科・訓練コースの標準カリキュラムから必要な科目を選択して、6カ月間の個別訓練カリキュラムを作成します。
- ・ 「標準コース」「短期コース」のいずれにおいても、導入期の訓練、適応支援及び就職支援を受けることができます。
- ・ 「標準コース」「短期コース」のいずれにおいても、就職内定などにより、訓練修了予定日より早期に修了する場合があります。

4 その他

当センターへの通所にあたっての交通費は自己負担となります。標準コースの場合は、学校学生生徒旅客運賃割引証(学割)を発行できますが、短期コースの場合は発行できません。訓練手当などを受給する方はそのなかで交通費の一定額が支払われる場合があります。

【お問合せ先】

国立職業リハビリテーションセンター 職業評価課

〒359-0042 埼玉県所沢市並木4-2

電話:04-2995-1201

E-mail:Shokureha-hyokaka@jeed.go.jp

HP:<https://www.nvr.cd.jeed.go.jp>

訓練系・訓練科・訓練コース

訓練期間		訓練系	訓練科	訓練コース	定員
標準コース (1年間)	短期コース (6カ月間)	メカトロ系	機械製図科	機械CADコース	5
			電子機器科	電子技術・CADコース	5
			テクニカルオペレーション科	FAシステムコース	10
		組立・検査コース			
		建築系	建築設計科	建築CADコース	5
		情報系	OAシステム科	ソフトウェア開発コース	25
				システム活用コース	
				視覚障害者情報アクセスコース	
		DTP・Web技術科	DTPコース	15	
			Webコース		
	ビジネス系	経理事務科	会計ビジネスコース	10	
		OA事務科	OAビジネスコース	60	
		オフィスワーク科	オフィスワークコース	20	
	物流系	物流・資材管理科	物流・資材管理コース	5	
	職域開発系	アシスタントワーク科	オフィスアシスタントコース	20	
			販売・物流コース		
			サービスワークコース		

入 所 申 請 書

令和 年 月 日

国立職業リハビリテーションセンター所長 殿

私は、このたびセンターに入所を申請いたします。

写真
40mm×30mm
(3ヶ月以内に撮影)
裏面に名前を記入し
てください。
枠内に貼ってください

フリガナ			性別
氏名			男・女
生年月日	昭和・平成 年 月 日 (歳)		
住所	〒		
	電話 () —		
住所	※国立障害者リハビリテーションセンター(障リハ)に入所中あるいは入所予定の方は、入所(予定)日、宿舎の棟、室番号をお書きください。 令和 年 月 日利用開始(予定) 【 棟 号室】		
	※現在、障リハにご自宅から通所して就労移行支援等を利用中の方で、当センターの訓練に際しても通所を予定されている方は、右記の【通所】に○をおつけください。 【 通 所 】		
通所手段	a. 国立障害者リハビリテーションセンター宿舎 b. 電車・バス(自宅最寄駅 線 駅: バス停留所) c. その他 () ※自動車等による通所は、届出に基づく認が必要です(下肢障害のある方など)		
	職業リハビリテーションセンターまでの所要時間 (時間 分)		
障害名・病名 (手帳の記載内容)	(級・度)		
障害者手帳等	a. 身体障害者手帳 b. 療育手帳 c. 公的機関の判定書 d. 精神障害者保健福祉手帳 e. 主治医の意見書等 f. その他 () 手帳取得日 (昭和・平成・令和 年 月 日・申請中)		
	※手帳をお持ちの方は、手帳の写しを併せてご提出ください。		
受障原因	a. 先天的 b. 疾病 c. 交通災害 d. 労働災害 e. その他 () 受障年月日 【 昭和・平成・令和 年 月 日 (歳時) 】		
	上記の障害のほかにも重複の障害がある方は、○印を付けてください。		
重複の障害状況	a. 身体障害 b. 難病 c. 高次脳機能障害 d. 発達障害 e. 精神障害 f. 知的障害 aからfの診断名 ()		
	希望する訓練科 短期コース O A 事務 科 O A ビジネス コース ここには、現時点の希望コースをご記入ください。		
職業訓練を希望する理由			
就職についての希望(職種等)			
併願	有・無	※「有」の場合は併願先をご記入ください。 a. 就職活動中 b. 他の職業訓練を申請(予定) c. その他 ()	
	ご希望される時期に○印を付けてください。		
応募回 ※日程については、募集要項をご参照ください。	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回		

(注) 記入が困難な方は、代筆でもかまいません。(代筆者氏名: 本人との関係:)